

## <オンライン受講について>

- ① 講習会開催日の約10日前から使用テキストを順次送付します。
- ② 講習会開催期間になりましたら、WEBカメラを準備し、マイページにログインしてください。
- ③ 視聴ボタンをクリックし、視聴を開始します。視聴を完了すると、次の動画へ進めます。
- ④ 視聴は1度限りです。倍速視聴や戻すことはできません。  
中断・ログアウトした場合は、視聴を停止した箇所から再開します。
- ⑤ 受講証明書は、事務局が受講済みを確認した後、マイページからダウンロードできます。

## <認証エラーが出た場合>

- カメラの角度や視聴場所を変え、カメラに他の人が映り込まないようにしてください。
- テキストを見るために下を向いている最中にエラーが出ることがあります。  
その際は下から映すようにカメラを調整してください。
- メールソフト等のブラウザを閉じてください。
- Microsoft Edge や Chrome をお使いください。
- パソコンを再起動し、もう一度ログインしてください。  
(再起動時、更新案内が出ても更新しないでください)

## <画面がローディング状態から進まない場合>

- メールソフトやブラウザを全て閉じる。(らくらく講習管理のみ開いている状態)
- キャッシュクリアをしてください。
- 使用中のブラウザをGoogle chromeまたはMicrosoft Edgeに変更後、再起動してください。  
(chrome→Edge、Edge→chrome)
- 有線環境で視聴してください。

**Wi-Fi無線環境の場合は、同じ室内や付近の通信の影響を受ける場合があります。  
時間を置くか、有線環境で視聴してください。**

(一財) 建築保全センター ホームページ「講習会・研修、講演会」内で、  
WEBカメラ・音声の動作チェックができます。  
受講前にご確認ください。

<https://bmmc.or.jp/category/koshu-kenshu-koen/>



## <その他>

(一財) 建築保全センターのホームページ「講習会・研修、講演会」内の「よくある質問」をご覧ください。

<https://bmmc.or.jp/kenshutoannai/#yokuaru>



## <オンライン講習会注意事項> 必ずお読みください。

- 受講中は在席確認のため、WEBカメラで受講者様を撮影しております。
- 受講中はブラウザを最大化し、ブラウザ画面を閉じることなく、常時パソコンの前に正しい受講スタイルでご視聴ください。
- 受講中はご視聴のパソコンでのメールや他のソフトウェアは利用できません。また、他サイトの閲覧もできません。
- 受講中に受講に関係のない行為、別の作業を行っている場合、自身を撮影した映像等をWEBカメラに提示し、在席しているようにする行為、複数人で視聴する等の不正が認められた場合は、受講権利が「失効」し、受講「修了」とみなしません。この場合、試験を行う講習においては、合格点に達していても「合格」とはなりません。悪質な場合は、今後のお申込みをお断りする場合がございます。
- WEBカメラで在席確認ができない場合、講習映像が「停止」いたしますのでご注意ください。  
※この画像は、当センターでしか見ることができません。また、在席確認以外の用途には使用しません。  
※停止している間は受講時間とみなされません。
- 視聴は一度限りです。視聴を中断した箇所から再開されます。
- 地震、火災、その他災害等により通信機器や回線等の障害等が発生した場合、中止・中断する場合があります。また、受講者様側で生じた障害等につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 講習の維持・保全のため、またはシステム障害発生時の復旧のため、一時的に講習を中止する場合があります。その際は、(一財) 建築保全センターのホームページにて告知いたします。
- 受講期間内で修了されない場合、受講権利が「失効」いたします。
- 受講期間内の変更・キャンセル・返金はいたしかねますので、ご了承ください。

令和8年度

# 建築改修工事技術 定期オンライン講習会

いずれの期間も同じ内容の講習を配信します。

第1回目 開催期間

6月1日（月）～6月14日（日）

第2回目 開催期間

9月28日（月）～10月11日（日）

第3回目 開催期間

令和9年1月25日（月）～2月7日（日）

< 期間中、好きな時間にアクセスして、自由に受講いただけます >

改修のプロとして  
必携の図書！

令和7年版「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」と  
「建築改修工事監理指針」についての講習会です。

## 受講料

会 員：¥11,000（税込）

非会員：¥12,100（税込）

（使用テキスト①を含む）

\* 会員・非会員についてはホームページをご確認ください。

## 使用 テキスト

- ① 講習会用テキスト（受講者全員に配布します。）
- ② 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版  
¥6,400（税込・受講者特別価格）
- ③ 建築改修工事監理指針 令和7年版（上巻）  
¥9,300（税込・受講者特別価格）
- ④ 建築改修工事監理指針 令和7年版（下巻）  
¥8,800（税込・受講者特別価格）

\* ②～④は電子ブック版あり、価格は同じです。



令和7年度には、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」改定と「建築改修工事監理指針」改訂の講習会をそれぞれ開催しましたが、今回は、改定等以外に両図書の位置付けの違いや関係、また法令改正や改定等が無かった部分でも改修工事の品質に関わる重要な事項等については説明します。

今回の講習プログラムは、各改修工事での既存撤去や下地の処理、改修工法の選択方法、施工上の留意事項等について詳しく解説するため、1章・3章・5章・7章・8章（一部）に限定しています。

今回のプログラムに入っていない章および節は、令和9年度の定期講習会で説明する予定です。



## 1章（各章共通事項）、3章（防水改修） 90分

1章では現場専任制度、発生材の処理、石綿含有建材の調査等について、3章では既存下地の処理、各防水改修工法で使用する材料や工法の特徴等について解説します。

## 5章（建具改修）、7章（塗装改修） 90分

5章ではかぶせ工法等の改修工法の特徴や施工上の注意点、防火戸の法改正、各建具の性能、シャッターの種類と危害防止装置等について、7章では乾燥硬化機構の種類と特徴、既存塗膜の劣化現象と原因、除去方法、各下地面の下地調整や既存塗膜と改修塗料との相性等について解説します。

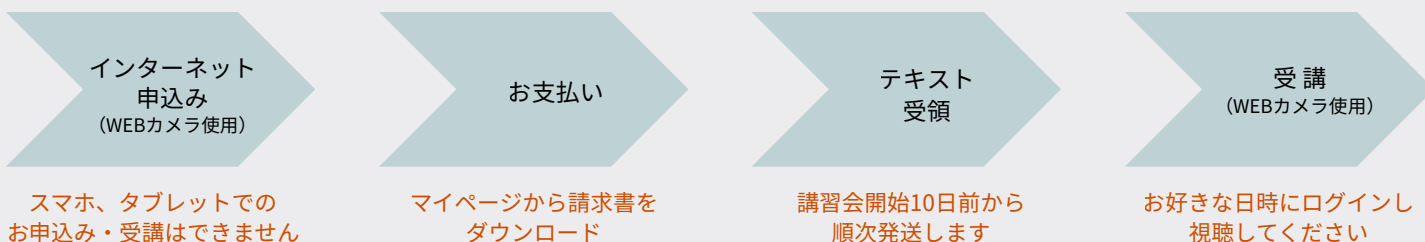
## 8章（耐震改修工事） 90分

1節では耐震改修の目標、2、12節では耐震改修でよく用いられるあと施工アンカーや連続繊維、5～11節では、近年問題となっている暑中コンクリート、21節以降の耐震改修工法では、RC造壁増設、柱補強、制振改修、「改修標仕」以外の構造体、非構造部材の耐震改修について解説します。施工上の留意事項等について詳しく解説するため、以上の節・項に限定しています。

※ 視聴は1度限りです。視聴を中断した箇所から再開となります。

※ 動画は倍速視聴や戻すことはできません。

### ー お申込みから受講までのながれ ー



\* お支払いや請求書についてはホームページをご確認ください。

後援	国土交通省	(一社) 公共建築協会	(一財) 建築コスト管理システム研究所		
協賛 (予定)	(一社) 建築開口部協会 (一社) 全国建設業協会 (一社) 全国タイル業協会 (一社) 全国中小建設業協会 全国ビルリフォーム工事業協同組合 (公社) 全国ビルメンテナンス協会	(一社) 全国防水工事業協会 低圧樹脂注入工法協議会 日本外壁仕上業協同組合連合会 (一社) 日本建設業連合会 (一社) 日本建設あと施工アンカー協会 日本建築仕上材工業会	日本樹脂施工協同組合 (一社) 日本タイル煉瓦工事工業会 (一社) 日本塗装工業会 (一社) 日本ビルディング協会連合会 (公社) 日本ファシリティマネジメント協会 (公社) ロングライフビル推進協会	(公社) 日本建築士会連合会 (一社) 日本建築士事務所協会連合会 (公社) 日本建築積算協会 (一社) 日本建築板金協会 (一社) 日本左官業組合連合会 (一社) 日本サッシ協会	

